

作成日 : 1996年 7月31日

改訂日 : 2026年 5月21日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	クロレート SL
製品コード	CHIB
供給者の会社名称	株式会社エス・ディー・エス バイオテック
住所	東京都千代田区神田練堀町3番地
担当部門	安全環境・品質保証室
電話番号	03-6867-8313
FAX 番号	03-6867-8330
緊急連絡先	03-6867-8313
推奨用途	農薬（緑地管理用除草剤）
使用上の制限	農薬登録内容以外の使用は不可
整理番号	1 5 0 9 - 0 3

2. 危険有害性の要約

GHS分類

(物理的及び化学的危険性)

爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高圧ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	区分に該当しない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	区分に該当しない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	区分2
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	区分に該当しない

(健康に対する有害性)

急性毒性：経口	区分に該当しない
急性毒性：経皮	区分に該当しない
急性毒性：吸入（気体）	区分に該当しない
急性毒性：吸入（蒸気）	分類できない
急性毒性：吸入（粉じん）	区分に該当しない

急性毒性：吸入（ミスト）	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分に該当しない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 3（気道刺激性）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
誤えん有害性	分類できない

(環境に対する有害性)

水生環境有害性 短期（急性）	区分に該当しない
水生環境有害性 長期（慢性）	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

火災助長のおそれ：酸化性物質
呼吸器への刺激のおそれ

注意書き 安全対策

熱から遠ざけること。
衣類/可燃物から遠ざけること。
可燃物との混合を回避するために予防策をとること。
保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
粉じん/煙/蒸気を吸入しないこと。

応急措置

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
火災の場合：消火するために水、粉末消火剤、乾燥砂等を使用すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

保管

気分が悪いときは、医師に連絡すること。
換気の良い所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を法/条例に従って廃棄すること。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

塩素酸ナトリウムが生体内に吸収されると、酸化剤としての作用によりメトヘモグロビン血症を生じ、吸収量が多い場合には頭重、頭

痛、めまい、倦怠感、疲労感、顔面蒼白、チアノーゼ、尿の着色等の症状を起こすことがある。

塩素酸ナトリウムは常温では安定であるが、300℃付近で酸素を放出し可燃性を示す。加熱により単独で爆発することがある。有機物、イオウ粉等と混合するとわずかな刺激で爆発する。燃焼、強酸との混合により二酸化塩素を発生する。二酸化塩素の濃度が密閉系で高濃度（15 vol%以上）になると爆発する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分及び濃度（含有率）

(成分)	(化学式)	(含有率)	(CAS番号)	(官報公示整理番号)	
				(安衛法)	(化審法)
<成分①> 塩素酸ナトリウム（塩素酸塩）	NaClO_3	60.0 %	7775-09-9	—	(1)-239
<成分②> セスキ炭酸ナトリウム	$\text{NaHCO}_3 \cdot \text{Na}_2\text{CO}_3$	30.0 %	533-96-0	1-3-141	(1)-164
<成分③> 鉍物質等	—	10.0 %	—	—	—

安衛法 表示・通知義務対象物質

(成分)	(化学式)	(含有率)	(CAS番号)	(官報公示整理番号)	
				(安衛法)	(化審法)
塩素酸ナトリウム（塩素酸塩）	NaClO_3	60.0 %	7775-09-9	—	(1)-239
セスキ炭酸ナトリウム	$\text{NaHCO}_3 \cdot \text{Na}_2\text{CO}_3$	30.0 %	533-96-0	1-3-141	(1)-164

4. 応急措置

吸入した場合	被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	多量の水で洗うこと。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合は、眼科医の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぎ、無理に吐かせない。医師の診察/手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水、泡消火剤、粉末消火剤（リン酸塩類等を使用するもの）、乾燥砂等
使ってはならない消火剤	二酸化炭素、ハロゲン化物、粉末消火剤（リン酸塩類等を使用するものを除く）
火災時の特有の危険有害性	火災に巻き込まれると、燃焼を加速する。 火災によって刺激性、毒性又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法	火元への燃焼源を断ち、大量の水又はその他の消火剤を使用して消火すること。 消火のための放水等により、消火水が下水や河川等の水系に流れ込まないように適切な措置を行うこと。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用すること。
消火時の注意	移動可能な容器は速やかに安全な場所に移すこと。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	粉末を吸い込んだり浴びたりしないように注意し、漏出時の処理作業には、保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣等を着用すること。 作業後は、手、足、顔等を石鹼でよく洗い、うがいをする事。
環境に対する注意事項	漏出した物質が河川、湖沼、海域等に飛散、流入しないように注意すること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	飛散したものを掃き集め、密閉できる空容器に回収すること。 また、水洗できる場所では、大量の水で洗い流すこと。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを速やかに取り除くこと。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	消防法危険物 第一類塩素酸塩類含有物 第二種酸化性固体 (300 kg) の取扱いを行うこと。
安全取扱い注意事項	火気、衝撃及び可燃物に接触しないように注意すること。
接触回避	火気、可燃物
衛生対策	吸い込んだり、皮膚や眼に触れないよう、長袖の作業衣、保護手袋、保護マスク、保護眼鏡を着用して、できるだけ風上から作業すること。 取扱い後は、手、顔、眼等を良く洗い、うがいをする事。
保管	
安全な保管条件	容器を密閉し、適当な換気のある乾燥した冷暗所に、施錠して保管すること。 熱から離して保管すること。 消防法危険物（塩素酸塩類）に該当するので、可燃物及び禁忌物質と同一場所に貯蔵しないこと。
安全な容器包装材料	製品容器包装材料に準じる。
8. ばく露防止及び保護措置	
許容濃度等	
管理濃度	未設定
許容濃度	日本産業衛生学会及びACGIHで未設定
設備対策	粉じんが作業場の空気を汚染しないように、局所排気装置の設置、設備の密閉化、又は全体の換気を適切に行うこと。 取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置すること。
保護具	

呼吸用保護具	防じんマスク
手の保護具	ゴム手袋
眼、顔面の保護具	側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護服（長袖、長ズボン）、保護長靴
特別な注意事項	情報なし

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	水溶性微粒
色	類白色
臭い	情報なし
融点/凝固点	情報なし
	成分① 塩素酸ナトリウム：248 °C
沸点又は初留点及び沸騰範囲	情報なし
可燃性	情報なし
分解温度	情報なし
	成分① 塩素酸ナトリウム：約300 °C
pH	情報なし
溶解度	情報なし
	成分① 塩素酸ナトリウム：水 50 g/100 g、アセトン 0.943 g/L、 エタノール 9.9 g/L (25 °C)
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	情報なし
粒子特性	情報なし
粉じん爆発性	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の取扱いでは反応性なし。
化学的安定性	常温では安定
危険有害反応可能性	強力な酸化剤であり、可燃性物質や還元性物質と激しく反応する。
避けるべき条件	燃えやすいものとの混合、熱
混触危険物質	多くの有機物と反応し、衝撃に敏感な混合物を生成し、爆発の危険をもたらす。
危険有害な分解生成物	火災の危険性を増大させる酸素や有害なヒューム（塩素）を生じる。

11. 有害性情報

急性毒性 経口 LD ₅₀	>5,000 mg/kg（ラット、マウス）（区分に該当しない）
経皮 LD ₅₀	>2,000 mg/kg（ラット）（区分に該当しない）
吸入 LC ₅₀	成分の分類から、区分に該当しないとした。
皮膚腐食性/刺激性	刺激性なし（ウサギ）（区分に該当しない）
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	刺激性あり（ウサギ）（GHS分類基準以下であり、区分に該当しない）
呼吸器感受性	情報なし（分類できない）
皮膚感受性	陰性（区分に該当しない）
生殖細胞変異原性	情報不足（分類できない）
発がん性	情報不足（分類できない）

生殖毒性	情報不足（分類できない）
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分3（気道刺激性）の成分②を20%以上含有するので、区分3（気道刺激性）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	成分①、③は「区分に該当しない」、成分②は「分類できない」ので、本剤は分類できない
誤えん有害性	情報なし（分類できない）

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類：	コイ	LC ₅₀ (96 hr)	>1,000 mg/L
甲殻類：	オオミジンコ	EC ₅₀ (48 hr)	>1,000 mg/L
藻類：	緑藻	EbC ₅₀ (0-72 hr)	>1,000 mg/L
		NOECb	≥1,000 mg/L

上記の結果から、水生環境有害性 短期（急性）及び水生環境有害性 長期（慢性）を区分に該当しないとした。

残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし（分類できない）

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。
空容器、空袋、汚染容器等：	内容物を完全に除去し、関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。
これらの処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た産業廃棄物業者に委託すること。	

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	UN 1495
品名（国連輸送名）	塩素酸ナトリウム
国連分類	クラス 5.1
容器等級	II
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	消防法危険物 第1類塩素酸塩類含有物 第二種酸化性固体（300 kg）の取扱いを行う。 当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載する。 危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬する。 輸送に関しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 消防法危険物2類～5類及び高压ガス取締法第2条各号に掲げる高压ガス容器との混載は禁止されている。 火気又は熱気に触れさせない。 重量物を上積みしない。 移送時にイエローカードの保持が必要である。 「危険物」の標識を掲げる。

	食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
国内規制	
陸上輸送	毒物及び劇物取締法、消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	航空法に定められている運送方法に従う。
緊急時応急措置指針番号	140
15. 適用法令	
農薬取締法	農薬登録番号 第12991号
化学物質排出把握管理促進法	「塩素酸並びにそのカリウム塩及びナトリウム塩」：第一種指定化学物質（管理番号：598） 60%
労働安全衛生法	施行令別表第 1 第3号 危険物 酸化性の物 ・ 塩素酸ナトリウム 第57条及び第57条の2 名称等を表示・通知すべき危険有害物 ・ セスキ炭酸ナトリウム ・ 塩素酸並びにそのアンモニウム塩、カリウム塩及びナトリウム塩
毒物及び劇物取締法	劇物
消防法	危険物 第1類塩素酸塩類含有物 第二種酸化性固体（300 kg）
化審法	第一種・第二種特定化学物質に該当しない
水質汚濁防止法	事故時の措置・報告対象
船舶安全法	酸化性物質類・酸化性物質
航空法	酸化性物質類・酸化性物質
港則法	酸化性物質
16. その他の情報	
参考文献、資料等：	—
記載内容の取扱い：	
・	記載内容はこの製品の一般的な取扱いに関する情報提供であって、いかなる保証をなすものではありません。
・	記載内容は現時点で一般的に入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、全ての情報が網羅されているわけではありません。
・	新たな情報を入手した場合は改訂されることがあります。
・	注意事項は通常の取扱いを対象にしたものですので、特殊な取扱いの場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。